

ニュース

旬の話題をカメラリポート



▲歩道橋の延長は65m、幅は3.5m。雨天時もぬれずに乗り換えてできる



JR豊肥本線と市電が“直結”

新水前寺駅連絡橋が供用開始

▲7月20日に供用を始めた新水前寺連絡橋。新水前寺駅電停と階段で直結し、乗り継ぎ時間や移動距離を短縮した。写真奥の歩道橋下にあった旧電停までの距離は約150m。乗り換え時間を約3分から1分弱に縮めた。

◀供用を始めた連絡橋。市電電停と駅ホームを結ぶ歩道橋を直につなぎ、利便性を高めた

JR豊肥本線の新水前寺駅と市電の新水前寺駅電停を“直結”する連絡橋がこのほど完成し、7月20日から供用を始めた。震災の影響で資材調達が遅れたエレベーターの供用開始は10月を見込む。熊本市は8月末をめどに約750台収容の駐輪場を高架下に整備する。乗り継ぎ利便性の向上を目的に、県と市で進めた事業は07年9月に着工。事業費は横断歩道橋を建設した県が約25億円、電停と駐輪場を整備する市が約1億円をかけた。供用で利用者の移動距離は旧電停と比べる従来の150mから50mとなり、3分程度掛かっていた乗り継ぎ時間は「1分弱」（県都市計画課）に短縮している。同駅の利用者数は5130人（09年度）で県内では熊本駅、水前寺駅に次いで3番目に多く、以前から乗り継ぎの利便性向上が指摘されていた。当初計画では九州新幹線全線開業に合わせ、今年3月の全面供用開始を目指していたが、歩道橋を建設する地盤が軟弱だったため、完成が7月にずれ込んだ。60（昭和35）年の熊本国体を機に6車線化された県道を熊本高森線を走る車の通行量は、上下線合わせ1日に7万台を超える。県は新たな橋りょうを建設し、昨年8月に橋脚を持つガードを撤去。旧電停に併設していた歩道橋も今年度内に撤去する予定だ。



▶鶴屋百貨店6階催事場で開かれた表彰式

▲日用品・工芸品部門金賞の「肌馬油さくら」。好き嫌いがなく馬油に香りを付け、若年層にも受け入れられるよう工夫した。価格は税込1050円。

▲食品部門、日用品・工芸品部門の15商品を表彰。販売も行われた

▶食品部門金賞の「国産蜂蜜晩白柚」。八代市の特産品であるパンペイユの花から採取したハチミツで、ジュースやヨーグルトに入れて味わうことができる。価格は税込630円。

▲多くの来店客でにぎわう「くまもとの観光と物産まつり」

（社）熊本県物産振興協会（熊本市桜町、杉武男社長）は8月10日、平成23年度優良新商品表彰事業の受賞商品を発表した。民芸・日用品部門では肌美和（株）（御船町高木、浦邊輝實社長）の「肌馬油さくら」が、食品部門で（有）西岡養蜂園（八代市岡町、西岡千代社長）の「国産（くまもと）蜜峰晩白柚」が金賞を受賞した。鶴屋百貨店で同日から開催した「第39回くまもとの観光と特産品まつり」開会式に合わせて行なったもの。過去1年間に発売または開発された県産品を用いた商品を対象に、コンセプトや持続性、価格、デザインなどを総合的に審査した。「肌馬油さくら」は好き嫌いがなく馬油に香りを付け、若年層にも受け入れられるよう工夫した。価格は税込1050円。「国産蜂蜜晩白柚」は八代市の特産品であるパンペイユの花から採取したハチミツで、ジュースやヨーグルトに入れて味わうことができる。価格は税込630円。ほかにも日用品・民芸部門で3商品、食品部門で10商品が受賞している。

金賞に「肌馬油さくら」と「国産蜂蜜晩白柚」

熊本県物産振興協会・平成23年度優良新商品

今月のお買い得品！ シンガーヌイキル「SH-669」



テレビCMでおなじみ「みしん工房」の店内には常時100台以上展示しています。ぜひ、来て・見て・縫ってみてください。シンガーヌイキル SH-669は、ワンタッチ式ロックカッター内蔵シンでレバーひとつで簡単に薄地から厚地まで布を切りながらふちかがりができます。縫い模様は直線・ジグザグ・ボタンホール・まつり縫い・ニット用伸縮縫いなど、実用縫い13パターンがボタンを押すだけの簡単操作です。

限定10台
シンガーヌイキル SH-669
高さ287mm×幅370mm
×奥行156mm・重量6.1kg
9,800円（税込）

注文・修理のことは
0120-46-0105
糸調子・糸切れ・目とび・動かないなど

特典 お買い上げの方で「くま経プレスを見た」の一言で、ミシン糸5色セットをプレゼント

みしん工房
熊本店 熊本市水前寺4丁目53-16 営業時間 9:00~18:30
ロックタウン店 熊本市島町3-1 営業時間 10:00~19:00
◆お申し込み・お問い合わせは：0120-66-8434（土・日・祝日の受注・配達します）